

日本英文学会東北支部／東北英文学会・ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan
The Tohoku English Literary Society

2010 年 9 月号

発行 日本英文学会東北支部／東北英文学会

〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内

TEL: 022 (264) 6401 FAX: 022 (264) 6530 E-mail: tohoku@elsj.org

URL: <http://www.tscc.tohoku-gakuin.ac.jp/~tohoku-eibun/>

支部長挨拶

遠藤 健一

残暑お見舞い申し上げます。

厳しい夏でした。会員の皆様におかれましては、有意義な夏休みをお過ごしのことと思います。

さて、文部科学省の指導により、いわゆる公益法人法改正に伴う「一般財団法人」申請のための新体制への移行が平成 23 年度と定められました。その結果、以下のような措置が必要となりました。

1. 本部＝支部体制への移行の最終段階：従来の「支部のみ会員」（東北英文学会のみ会員）の存続が不可能になります。「支部のみ会員」の皆様には本部＝支部会員への切り替えを、是非、お願い致します。既にお送りしております意向伺いのはがきにて、ご回答のほど、宜しくお願い致します。ご回答頂けない場合には、自動的に本部＝支部会員への切り替えとなり、2 年間にわたって会費未納の場合は、その時点で、退会扱いになりますので、ご注意下さい。
2. 会費の再改定など：全国一律の会費に改訂されます。その結果、一般会員 8,000 円（本部 7,000 円、支部 1,000 円）、学生会員 6,000 円（本部 5,000 円、支部 1,000 円）になります。東北支部の場合、再度の値下げになります。会費は本部による一括徴収となり、その上で、一律 600,000 円の運営交付金と支部会費分が支部事務局に送付されるシステムに変わります。

3. 支部理事の選挙など：昨年度お決め頂いた「日本英文学会東北支部規約」に基づいて、支部理事の選挙を行います。是非、投票にご参加下さい。今年の11月頃には、前倒しのかたちで、新体制の東北支部理事会を召集する予定です。席上、東北支部理事による互選で、本部理事（支部長）、本部評議員各1名を選出することになります。尚、「支部のみ会員」の方には、選挙権はございません。
4. 「東北英文学会」という組織名称の廃止：「本部＝支部会員」及び「支部のみ会員」双方から構成されていた従来組織の廃止に伴い、本組織の名称は「日本英文学会東北支部」に一本化されます。従って、「東北英文学会会則」および従来の評議員会組織の廃止を9月25日開催の評議員会で決定する予定です。
5. 「東北英文学会賞」の見直し：「東北英文学賞」などへの改称を含め、内部留保金の流動化を促進する必要から（これもまた、一般財団法人化に向けての会計処理上の要件となります）、従来の授賞制度の見直し、さらに、『東北英文学研究』年間優秀論文の顕彰制度等の導入なども検討する必要があります。これらの問題は、新体制の支部理事会に付託することになるかと思えます。
6. 今後の案件：全国7支部で開催される支部大会への他支部会員の参加の在り方や全国7支部発刊の会誌への他支部会員の投稿権の在り方などが、現在、議論されております。新体制移行後の日本英文学会理事会・評議員会で決定される見込みです。尚、支部会誌の統合（『英文学研究支部統合号』）同様、支部大会プログラムも統合化される見込みです。東北支部では、できれば来年度から支部大会統合プログラムへの参加を考えています。その為には、支部大会開催日を10月下旬～12月上旬に設定する必要があります。

以上が、新体制移行に伴う必要な措置についての説明・報告になります。本部＝支部体制に完全移行した場合、会員管理（会費徴収、会員連絡など）の仕事が本部事務局に全面的に移管されるため、支部事務局の事務量は大幅に減少します。また、財政的にも安定する見込みです。

過渡期を乗り切るために、今後とも、一層のご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

最後になりましたが、第65回大会開催をお引き受け頂きました仙台白百合女子大学の会員の皆様には、こころより感謝申し上げます。どうぞ宜しくお願い致します。

仙台白百合女子大学での会員の皆様との再会を楽しみにしております。

平成 22 年度予算案（報告）

同封の大会プログラムで「東北英文学会平成 20 年度決算報告（追加修正）」を掲載しましたが、同時に「平成 22 年度予算案」も掲載すべきでした。平成 21 年度決算報告がまだだったので、つい失念しておりました。この場を借りて、昨年の評議員会でお認め頂いた「日本英文学会東北支部／東北英文学会平成 22 年度予算案」を報告いたします。（事務局）

日本英文学会東北支部平成 22 年度予算案(平成 21 年 12 月 5 日)

収入の部		支出の部	
項目	予算額	項目	予算額
前年度繰越	955,975	大会運営費	200,000
会費収入		評議員会費	20,000
東北支部会員	351,000	準備委員会費	10,000
東北支部学生会員	24,000	準備委員会旅費	120,000
寄付	0	大会資料印刷費	45,000
Proceedings 売り上げ	0	大会資料発送費	20,000
郵便貯金利子	0	編集会議費	10,000
日本英文学会・支部交付金	100,000	編集会議旅費	120,000
東北英文学会付託金	285,000	『東北英文学研究』印刷費	50,000
		『東北英文学研究』発送費	50,000
		事務通信費	50,000
		事務謝礼	30,000
		予備費	990,975
		その他	
		次年度繰越	
合計	1,715,975	合計	1,715,975

東北英文学会賞平成 22 年度予算案

収入の部		支出の部	
項目	予算額	項目	予算額
前年度繰越	1,090,829	賞金	150000
利息	0	雑費	2000
		税金	0
		次年度繰越	938,829
合計	1,090,829	合計	1,090,829

『東北英文学研究』第1号について

今回新たに発刊する『東北英文学研究』第1号は、現在編集作業中で、12月頃には日本英文学会発行の『英文学研究 支部統合号』に合本された形で皆様のお手元に届けられる予定です。今回の編集委員会の構成、また投稿数・採択数について、ご報告いたします。

『東北英文学研究』編集委員会は次のように構成されています（敬称略）。

任期	H22～H23	H22～H24	H22～H25
イギリス文学部門	鈴木美津子	佐々木和貴	箭川 修
アメリカ文学部門	齋藤 博次	村上 東	伊達 雅彦
英語学・英語教育部門	菊地 朗	鈴木 亨	阿部 潤

今回発行される第1号の投稿数および採択数は以下の通りです。

	投稿数	採択数	採択率
イギリス文学部門	3	2	67%
アメリカ文学部門	0	0	--
英語学・英語教育部門	4	1	25%
合計	7	3	43%

次号もぜひ奮ってご応募ください。（事務局）

事務局の体制について 学会の事務は東北学院大学文学部英文学科准教授・横内一雄が務め、庶務には同大学非常勤講師・尾坂純子、会計には同大学非常勤講師・相田明子が付いております。日本英文学会東北支部会員の皆さまについては、会費納入・住所変更等の受け付けは日本英文学会（本部）で行っておりますが、東北英文学会のみの方の皆さまについては、会費納入・住所変更等の受け付けは当事務局で行っております。この他のお問い合わせについては、どちらのケースであっても当事務局で承りますので、どうぞお気軽にご連絡ください。ご連絡は電子メール（tohoku@elsj.org）が最も迅速・確実です。利用可能な方はできるだけ電子メールをご使用ください。